

平成30年2月19日  
九州地方整備局  
佐賀国道事務所

## 記者発表資料

### 「i-Construction奨励賞」伝達式の開催について

～建設現場の生産性向上に向けたベストプラクティスの水平展開～

平成28年度に完成したICT土工工事（測量、施工、監督・検査等の建設生産システムにおいて、ICTを活用した工事）において、工事の能率や品質向上に繋がる取り組みを実施した施工企業に対して、九州地方整備局長より授与する「i-Construction奨励賞」の伝達式を下記のとおり開催します。

#### 記

#### 1. 「i-Construction奨励賞」概要

国土交通省では、建設現場の生産性向上（以下、「i-Construction」という。）に係る優れた取り組みを表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionの取り組みを推進することを目的とした「i-Construction大賞」を今年度創設し、初めての受賞者が決定したところですが、このたび、九州地方整備局においても、昨年度、完成したICT対象工事の中より、工事の能率や品質向上に繋がる取り組みを実施して頂いた施工企業を対象に「i-Construction奨励賞」を授与することとなりました。

#### 2. 奨励賞伝達式

開催日時：平成30年2月22日（木） 10:00～10:20  
場 所：佐賀国道事務所 2階会議室

#### 3. 受賞者

株式会社 下村建設

※ 伝達式の公開は、報道関係者のみに限らせて頂き、取材を御希望される方は、伝達式開催前日までに下記問い合わせ先まで御連絡をお願い致します。

（問い合わせ先）

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所（TEL：0952-32-1151）

技術副所長 きよときよしお  
清時 義雄（内線204）

品質確保課長 さきの しんじ  
崎野 信二（内線271）

E-mail：sakoku@qsr.mlit.go.jp URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/sakoku/

○施工者(元請け)が、今後のICT土工の全面的な実施に社をあげて取り組むとともに、地場企業と連携してチャレンジ。

- ・社内レーザースキャナー・点群処理ソフトを購入し、起工測量・出来形帳票作成を自社にて行う事で、今後ICTの全面活用に向けICT推進チームを設置。
- ・今後は、外注している3D設計データまでを自社にて行えるように取り組むを行う。



レーザースキャナーによる起工測量



MCバックホーによる切土法面整形



レーザースキャナーによる出来形測量

様式-31-2 出来形合否判定総括表

工程		道路土工		測点 第2法面	
種別	細別工			合否判定結果	異常値数
法面 標高較差	平均値	-4.4mm	±30mm		
	最大値(差)	33mm	±100mm		
	最小値(差)	-34mm	±100mm		
	データ数	402	1点以上 (0.00以上)		
	評価数値	4064			
検出点数	0	0.75未満 (1点以下)			
平均値					
最大値(差)					
最小値(差)					
データ数					
評価数値					
検出点数					

  

評価項目	規格値	判定	異常値数
法面の ばらつき	規格値の±50% 以内のデータ数 (100/ 0%)	合格	0
	規格値の±10% 以内のデータ数 (10/ 0%)	合格	0
	規格値の±5% 以内のデータ数 (10/ 0%)	合格	0

出来形帳票

施工者の声 (株)下村建設

- 工期：「レーザースキャナー使用により、起工測量～出来形管理までが従来約61日から約45日に短縮でき工期を短縮する事ができた。」
- 工程：「丁張設置などの手待ち状態がなくなるので、工程の遅延がなかった」
- 施工：「今までオペレーターの腕に頼っていたがマシンガイダンス(バックホウ)の活用で高精度に仕上げることができた。」
- 品質：「従来の点と点を結ぶ線と異なり、面的施工・管理となるため、大幅に品質が向上した」
- 安全：「測量・出来形管理及び丁張り作業時の手元作業員が必要なくなったため、法面からの滑落・重機との接触などの危険性が無くなった」